

# 環境活動レポート

2019年版(2018.6.1～2019.5.31)

作成日2019. 7. 10

浜田化学株式会社

〒660-0843

兵庫県尼崎市東海岸町1-4

TEL-06(6411)3457

FAX-06(6411)8200

人と環境にやさしい安心で安全な天ぷら油の  
リサイクルを行っています。

人と環境にやさしい企業をめざして!!!



●● Hamada Kagaku ●●

## 目次

環境憲章・環境方針	.....3
事業活動の概要	.....4
施設の概要	.....5~7
全事業所所在地	.....8
許可一覧	.....9
組織体制	.....10
環境目標とその実績と評価	.....11~13
新たな取り組み事例	.....14~15
中期の環境負荷削減目標とその結果	.....16
問題点の是正措置及び予防措置の結果	.....17~18
代表者による環境活動の取り組み結果の評価	.....19

## 浜田化学株式会社環境憲章

# 志

## Cocolozashi

私たちは環境ビジネスを通じ地球環境の改善と人類の発展に貢献します。

常にお客さまに満足と納得のいただける安心安全なリサイクルを笑顔で提供します。

さまざまな変化の中で最適な環境システムを構築するための不断の努力を行います。

### 環境方針

すべての企業活動・製品およびサービスにおいて、環境を常に意識し、“ヒトと地球に優しい製品・サービス”を提供するとともに、安心な社会・自然環境を破壊する反社会的行為を排除する。

1. 廃食用油のリサイクルシステムを広く普及させ、水資源の保全と資源の有効活用に貢献する。
2. 省エネルギー、省資源、有害物質の排除を推進し、環境負荷の極小化に配慮する。
3. 常に環境推進体制・組織を最適化し、環境活動を推進する。
4. 社員の環境意識を高めるよう、環境教育・啓発活動を積極的に展開し、周知徹底させる。また外部に対しても、環境負荷と環境対応状況を積極的に公開する。
5. EMS(環境マネジメントシステム)を構築し、環境目的・目標を定めて定期的に見直し、環境汚染・災害の防止と、環境負荷の継続的な改善を行い、関連する法規制等を遵守する。
6. 環境技術とエコ商品等の研究・開発を推進し、その成果を広く社会へ還元する。
7. 行政機関、地域や関係団体等との連携を密にし、社会全体の環境保全活動に積極的に参画・支援・協力する。
8. 物品の調達、資材の仕入れ時は環境に配慮されたものを優先的に選択する。

2010年6月1日

浜田化学株式会社

代表取締役 岡野嘉市

●事業活動の概要（事業活動の概要と認証登録の対象範囲）

社名 : 浜田化学株式会社  
 代表者 : 代表取締役 岡野嘉市  
 設立 : 1970年 6月 22日  
 資本金 : 5,000万円  
 事業内容 : 産業廃棄物収集運搬業・処分業  
 廃食油・食品リサイクル事業  
 各種油脂・環境商品の販売  
 環境ソリューション事業  
 店舗衛生メンテナンスサービス  
 農業

対象サイト: 本社・リサイクル工場・阪神営業所、京都営業所、名古屋営業所、富山営業所  
 静岡営業所、川西支店、CYCLE HUB+(サイクル ハビタス)

環境管理責任者: 総務部長 岡野輝平

TEL 06 (6411) 3457 FAX 06 (6411) 8200 携帯 080 (3786) 9654

e-mail:kohei@hamadakagaku.co.jp

事業活動の規模:

活動規模	単位	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
廃食油処理量	t	13,333	12,679	12,366	12,937	13,424	14,312	14,920	15,880	16,768	16,945
売上高	百万円	1,331	1,240	1,280	1,304	1,266	1,419	1,478	1,365	1,393	1,429
従業員	人	97	86	77	84	87	93	97	107	120	117
床面積	m <sup>2</sup>	4,530	3,896	3,896	3,896	3,896	3,946	3,946	3,765	4,520	4,916

(年度は6月1日より5月末日)

保有運搬車両:(平成30年5月現在) 68台

内訳 10t 箱型	3台(内冷凍車3台)
10t ローリー	1台
4t ダンプ	1台
3.5t タンク車	1台
2t~4t 平ボディー	4台
1t~4t 箱型	49台
社用車(乗用車)	9台

○ 施設の概要：

・積替え保管施設

本社工場(屋内保管)

所在地	兵庫県尼崎市東海岸町1番地の4	
面積	156.6 m <sup>2</sup>	
種類	保管上限	保管方法
廃プラスチック類	1.3 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管
紙くず	0.8 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管
木くず	0.8 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管
繊維くず	0.8 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管
金属くず	22.3 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管
ガラスくず	0.8 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管
がれき類	0.8 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管

フォークリフト6台

名古屋営業所(屋内保管)

所在地	小牧市藤島町中島18番地	
面積	434 m <sup>2</sup>	
種類	保管上限	保管方法
廃油 廃プラスチック、紙くず 木くず、繊維くず 動植物性残さ、金属くず ガラスくず、コンクリートくず 陶磁器くず	373.70 m <sup>3</sup>	容器を用いた保管

フォークリフト1台

静岡営業所(屋内保管)

所在地	静岡市駿河区中島2835番1	
面積	34 m <sup>2</sup>	
種類	保管上限	保管方法
廃油	12.3 t	容器を用いた保管
金属くず	0.1 t	

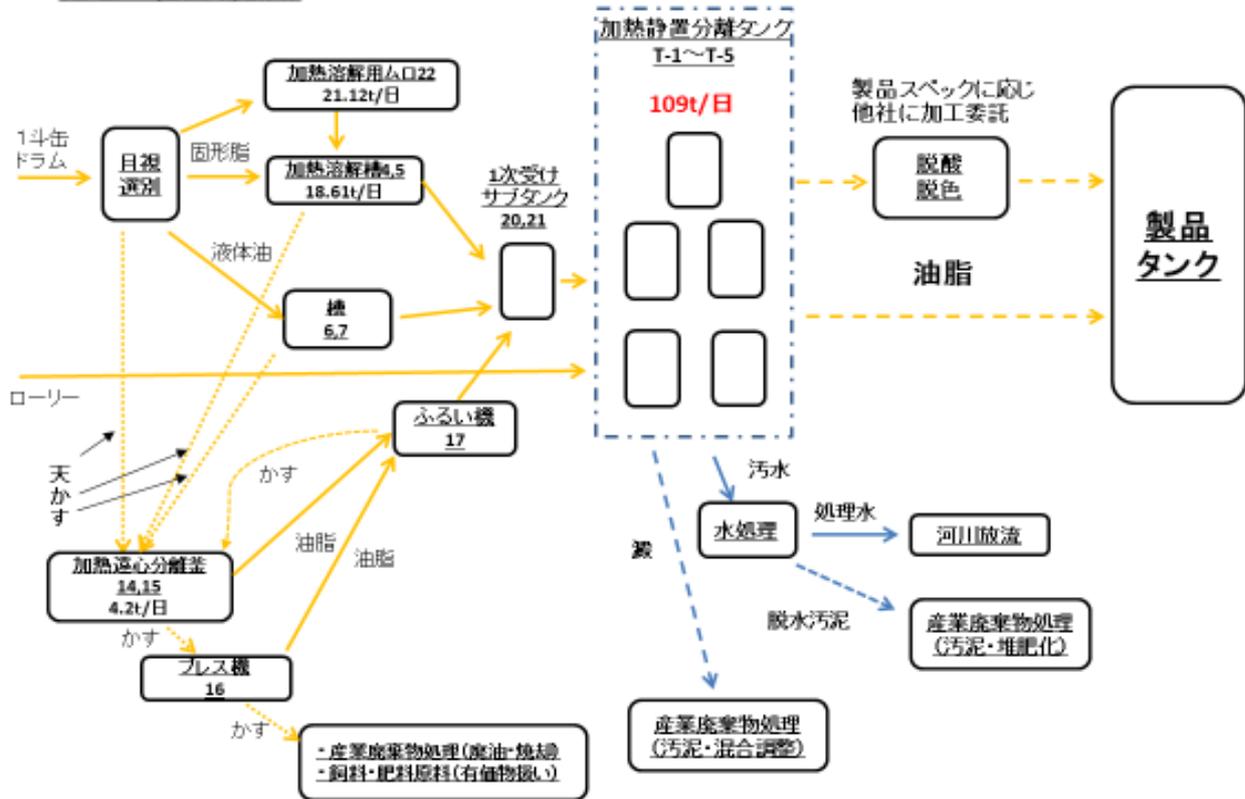
フォークリフト1台

・中間処理施設

本社工場

施設の処理能力等（処理能力、稼働時間）				
産業廃棄物の 処理施設の種類	施設の種別 処理能力	処理能力に係る計算書		施設の 稼働時間
加熱静置分離施設 (廃油処理)	109 t / 日	静置分離タンク（5機）（T-1～T-5番）		11時間
		容量：23.7m <sup>3</sup> ×5=118.5m <sup>3</sup>		
		処理能力：容量×比重		
		=118.5m <sup>3</sup> ×0.92=109.02 t		
加熱遠心分離施設 (動植物性残渣処理)	4.2 t / 日	加熱遠心分離釜（2機）（14,15番）		8時間
		容量：0.67m <sup>3</sup> ×2機=1.34m <sup>3</sup>		
		稼働回数：4回 / 日（1回あたり2時間加熱）		
		処理能力：容量×稼働回数×比重 =1.34m <sup>3</sup> ×4回×0.8=4.29t / 日		
加熱溶解施設 (汚泥処理)	18.6 t / 日 (①)	①加熱溶解槽（2槽）（4,5番）		8時間
		容量：0.82m <sup>3</sup> +3.41m <sup>3</sup> =4.23m <sup>3</sup>		
		稼働回数：4回 / 日（1回あたり2時間加熱）		
		処理能力：容量×稼働回数×比重 =4.23m <sup>3</sup> ×4回×1.1=18.61 t / 日		
		《参考》加熱溶解用ムロ（22番）		
		容量：200Lドラム24本 / 回		
		稼働回数：4回 / 日（1回あたり2時間加熱）		
		処理能力：容量×稼働回数×比重 =0.2m <sup>3</sup> ×24本×4回×1.1=21.12 t / 日		

処理工程図(廃油)



処理料金について

提示方法：廃食用油の品質・排出量に伴い別途相談

平均 収集運搬：●●円/kg

処分費用：無料

○ 全事業所の所在地:

◇本社・リサイクル工場・阪神営業所

〒660-0843

兵庫県尼崎市東海岸町1番地の4

TEL 06 (6411) 3457 FAX 06 (6411) 8200

◇京都営業所

〒601-8127

京都府京都市南区上鳥羽北花名町38番地1

TEL 075 (681) 5674 FAX 075 (681) 6169

◇名古屋営業所 (積替え保管施設)

〒485-0062

愛知県小牧市藤島町中島18番地

TEL 0568 (72) 9591 FAX 0568 (72) 9679

◇富山営業所

〒931-8406

富山県富山市松浦町9-20

TEL 076 (482) 4330 FAX 076 (482) 4331

◇静岡営業所 (積替え保管施設)

〒422-8046

静岡県静岡市駿河区中島2835-1

TEL 054 (284) 8668 FAX 054 (284) 8667

◇川西支店

〒666-0024

兵庫県川西市久代1-27-22-A

TEL 06 (6411) 3457 FAX 06 (6411) 8200

◇CYCLE HUB+ (サイクル ハビタス)

〒656-1337

兵庫県洲本市五色町1062-2

TEL 0799 (30) 5901 FAX 0799 (30) 5902

許可一覽	都道府県・市	許可番号	許可年月日	許可期限	汚泥	廃油	動植物性残渣	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず	がれき類	廃アルカリ	廃酸	ゴムくず	原本	備考(条件等)
1	尼崎市	7117000618	昭和61年3月4日	令和3年3月26日	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	有	
2	兵庫県	2801000618	平成5年7月27日	令和5年7月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
3	大阪府	2700000618	平成6年8月1日	令和7年7月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
4	和歌山県	3000000618	平成11年3月29日	令和6年3月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
5	京都府	2600000618	平成4年6月19日	令和4年6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
6	奈良県	2900000618	平成6年1月7日	令和6年1月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
7	滋賀県	2501000618	平成4年10月13日	令和5年8月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
8	三重県	2400000618	平成11年2月18日	令和6年2月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
9	愛知県	2310000618	平成5年5月10日	令和5年5月9日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	有	
10	岐阜県	2100000618	平成9年2月28日	令和4年2月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
11	長野県	2009000618	平成12年4月18日	令和7年4月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	動植物性廃食用油に限る
12	静岡県	2201000618	平成11年12月9日	令和6年12月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
13	静岡市	6201000618	平成11年12月9日	令和6年12月8日	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	有	カセットコンロボンベに限る
14	富山県	1606000618	平成11年12月15日	令和6年12月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	動植物性廃食用油に限る・特管(水銀使用製品を除く)を除く
15	石川県	1700000618	平成12年6月21日	令和7年6月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
16	福井県	1801000618	平成13年3月12日	令和3年3月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
17	新潟県	1509000618	平成14年2月21日	令和4年2月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
18	岡山県	3301000618	平成16年1月27日	令和6年1月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
19	広島県	3400000618	平成16年2月12日	令和6年2月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
20	徳島県	3600000618	平成16年3月26日	令和6年3月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
21	香川県	3709000618	平成16年4月20日	令和6年4月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
22	高知県	3900000618	平成16年12月20日	令和6年12月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
23	愛媛県	3807000618	平成17年1月31日	令和7年1月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
24	鳥取県	3101000618	平成16年12月21日	令和6年12月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
25	横浜市	5600000618	平成18年3月1日	令和3年2月28日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
26	秋田県	5060000618	平成20年10月23日	令和5年10月22日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	自動車等破砕物を除く
27	東京都	1300000618	平成21年10月26日	令和6年10月25日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
28	山梨県	1900000618	平成28年10月27日	令和3年10月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
29	群馬県	1000000618	平成30年1月4日	令和5年1月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
30	埼玉県	1100000618	平成30年1月16日	令和5年1月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
31	茨城県	00801000618	平成30年2月7日	令和5年2月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
32	神奈川県	01400000618	平成30年2月2日	令和5年2月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
33	栃木県	00900000618	平成30年4月6日	令和5年4月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
34	千葉県	01200000618	平成30年4月23日	令和5年4月22日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
35	尼崎市	7127000618	昭和61年8月13日	令和3年3月26日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	有	注1
36	富山市	0852000618	平成30年7月1日	令和5年6月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	有	注2・注3
●処分業 ○収集運搬業(積替保管なし) ◎収集運搬業(積替保管あり)																	阪神営業所(本社): 〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町1-4		
																	京都営業所: 〒601-8127 京都府京都市南区上鳥羽北花名町38番地1		
注1: 汚泥・動植物性残渣…食品関連施設から発生した油分を含むものに限る																	名古屋営業所: 〒485-0062 愛知県小牧市藤島町中島18番地		
注2: 廃油…特別管理産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く																	富山営業所: 〒931-8406 富山県富山市松浦町9-20		
注3: 廃プラスチック類・金属くず…これらのうち特別管理産業廃棄物・石綿含有産業廃棄物であるものを除く																	静岡営業所: 〒422-8046 静岡県静岡市駿河区中島2835-1		
																	川西支店: 〒666-0024 兵庫県川西市久代一丁目2番22号A		
																	尼崎市処分場: 〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町1-88		
																	富山処分場: 〒931-8406 富山県富山市松浦町2-13		

○ EA21 取り組み組織体制

□ 実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年4月20日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標・環境活動計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境活動計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## ○ 環境目標及びその実績と評価

### 環境への負荷の基準年からの推移

環境への負荷		単位	平成23年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	3,028,296	2,632,821	※	579,974	1,722,342	1,766,604
	( )	kg-CO2						
②受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	12,679	14,312	14,920	15,880	16,768	16,945
	中間処理量	t	12,679	14,312	14,920	15,880	16,768	16,945
	うち再資源化量	t	12,679	13,396	13,965	15,778	16,595	16,778
	最終処分量	t	0	0	0	0	0	0
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	916	955	102	173	468
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t	0	916	955	102	173	301
③廃棄物排出量及び産業廃棄物最終処分量	一般廃棄物	単焼却	142.6	87.4	-	25.3	81.0	86.0
		リサイクル	22.1	63.7	-	74.0	35.0	0.0
		最終処分量	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0
	産業廃棄物	単焼却	-	-	-	102.0	174.0	167.0
		リサイクル	818.1	916.0	-	230.0	1,138.0	750.0
		最終処分量	-	-	-	-	-	-
④-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	15,348	12,830	-	2,818	1,345	10,719
	下水道	m <sup>3</sup>	2,820	1,048	-	330	1,398	10,892
④-2 水使用量	上水	m <sup>3</sup>	18,546	13,878	-	3,148	2,743	10,719
	工業用水	m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-
⑤化学物質使用量	苛性ソーダ	kg	45,530	19,220	-	596	871	2,628
		kg	-	-	-	-	-	-
		kg	-	-	-	-	-	-
⑥エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	3,713,155	3,712,408	-	727,774	2,430,359	MJで未計上
	化石燃料	MJ	52,269,408	44,334,833	-	8,981,944	26,677,509	MJで未計上
	新エネルギー	MJ	34,654	64,477	-	0	0	MJで未計上
	その他	MJ	-	-	-	-	-	-
⑦物質使用量	資源使用量	t	-	-	-	-	-	-
	循環資源使用量	t	18,970	0	-	0	0	0
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質量	t	1.18	0.2	-	0	0	0
	水の利用量	m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-

・平成29年度は一年間を財務諸表より抜粋。平成29年度のそれ以外数値は火災によるデータ焼失により、2017.2.1から2017.5.31までの4か月間の集計で計上。  
 ・エネルギー使用量は従前のMJでの公表が一般的ではなくなった為計測されていない。次年度より新たな指針に変更する。

### ① 廃食用油リサイクルシステムの普及を促進する。

数値目標： 前年比 103.8%の自社回収リサイクル量

2018年6月～2019年5月までの実績 16,945t

前年の実績 16,768t

前年比 101.1%

評価：×

顧客拡大と回収効率化を推進する。

② 全前年度の全社二酸化炭素排出量の2%削減。

二酸化炭素排出量合計(kg-CO <sub>2</sub> )		
2019年度	1,766,604	理由: 火災からの復旧に伴い、全工場の稼働量が上がり、排出量が大幅に増えた。
2018年度	1,722,342	
昨年対比 +2.5%		

※2017年は2-5月の4か月分×3

※2016年度～2017年度において電力のCO<sub>2</sub>排出係数を0.523(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)として計算。

2018年度～については電力のCO<sub>2</sub>排出係数を0.418(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)として計算。

a.使用電力量の削減		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>事務所内の温度設定</u></li> <li>    冷房 28°C 暖房 20°C</li> <li>・<u>不要場所、不要時の消灯</u></li> <li>・<u>PCの on/off</u></li> <li>・<u>上記についての貼紙啓発</u> <span style="float: right;">数値目標-1.2%</span></li> </ul>		
使用電力量(kg-CO <sub>2</sub> )		
2019年度	121,568	
2018年度	103,346	
昨年対比 +7.6%		
理由: 工場の増加と設備の拡充により電力量が増加。		

b.工場におけるボイラー燃料の削減		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>配管の見直し</u></li> <li>・<u>稼働状況の見直し</u></li> <li>・<u>代替エネルギーの開発</u></li> </ul> <span style="float: right;">数値目標-1.2%</span>		
ボイラー燃料によるCO <sub>2</sub> 排出量		
2019年度	534,946	理由: 製造設備の工程見直しと配管の点検補修をこまめに行い減少。
2018年度	558,099	
昨年対比 -4.1%		

c.自動車燃料の削減

・公共交通機関の利用率促進

・アイドリングストップ

・使用量・燃費の見える化

・物流・営業の効率化

・バイオ燃料の使用

数値目標-1%

車両燃料合計(kg-CO<sub>2</sub>)

2019年度 1,096,921

2018年度 1,020,763 理由:顧客の増大により軽油使用量が  
 昨年対比 +7.5% 大幅に増加。

③ 省資源、廃棄物の削減

運搬容器、梱包材のリサイクルを行う。(全社)

数値目標: ・入荷物の梱包ダンボールのリサイクル率 100%

・金属缶容器のリサイクル率 100%

・2018年6月~2019年5月までの実績

金属缶:100%・790.4tをリサイクル原料として出荷。

ダンボール:100%・30.04tをリサイクル原料として出荷。 評価:◎今後も活動を継続。

④ 単純焼却対象の一般廃棄物を2%削減。

一般廃棄物合計(t)

2019年度 86.2 理由:工場増加により増大。

2018年度 81.4

昨年対比 +5.8%

⑤ 水使用量を2%削減。(全社)

使用水量(t)

2019年度 10,892 理由:火災による計量不可で2018年は

2018年度 2,743 まともな計測値ではない。

昨年対比 +397%

## ○今年度の CSR 取り組み事例

### ① 廃油キャンドルイベント

複合商業施設のアリオ鳳にて廃油キャンドルイベントを実施。使用済の食用油の利活用を啓蒙

2018年10月9日@アリオ鳳(大阪府堺市)



### ② 「食」の総合イベント出展

第6回 FABEX 関西 2018 に出展し、廃食油及び廃棄物のリサイクル活動を推進

2018年10月23日～2018年10月25日@インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)



③ ショッピングセンターイベントへのブース出展

第 43 回日本ショッピングセンター全国大会「SC ビジネスフェア 2019」に出展。

廃食油から農業・燃料原料販売(海外)など自社のカスケード事例を挙げたりサイクルの促進活動

2019 年 1 月 23 日～1 月 25 日@パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)



## ○中期の環境負荷削減目標とその結果

平成 31 年 7 月 10 日  
 浜田化学(株) 代表取締役  
 岡野嘉市

2011 年度を 100%とし、下記のとおり中期計画を設定。

項目	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
二酸化炭素排出量	100% 3,028,296 kg	99% 78.8%	98% 81.8%	97% 83.0%	96% 87.0%
排水量	100% 18,168t	99% 75.6%	98% 72.5%	97% 76.0%	96% 76.4%
一般廃棄物量 (単純焼却)	100% 142.6t	99% 74.6%	98% 65.2%	97% 56.2%	96% 61.3%
廃食用油のリサイクル量	100% 12,679t	105% 97.5%	110% 102%	115% 105.9%	120% 112.9%

項目	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
二酸化炭素排出量	87% ※	86% 57%	85% 56.9%	84% 58.3%	83%
排水量	76% ※	75% 52%	74% 15%	73% 59.9%	72%
一般廃棄物量 (単純焼却)	60% ※	59% 52%	58% 56.8%	57% 60.4%	56%
廃食用油のリサイクル量	120% 117.6%	125% 125.2%	130% 132.2%	135% 139.4%	140%

※は火災のためデータ喪失 2017 年は 2 月～5 月分を 3 倍にして推量

赤字は結果を表す

各サイトにおいても同様に 2011 年度を基準とし上記の全体の削減目標と同様の削減率を数値目標とする。

※2016 年度～2017 年度において電力の CO<sub>2</sub>排出係数を 0.523(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)として計算。

※2018 年度～については電力の CO<sub>2</sub>排出係数を 0.418(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)として計算。

問題点の是正措置及び予防措置の結果

令和1年7月10日 代表取締役 岡野嘉市

項目	是正措置・予防措置	結果
水・エネルギー 使用量	火災後の油脂設備を復旧。	使用量が増大
廃棄物	処理が困難なものや異物混入が持ち込まれた時のクライアントとのコミュニケーションを強化を継続。	リサイクル量が増大
火災防止	業務終了後の清掃及び終業手順を徹底。深夜見回りを継続。	継続
油脂漏えい	タンクの保全及び新造。十分な水処理容量の準備。	漏えいなし。
その他	情報伝達について不定期に末端への経営者からのインタビューを実施し情報共有のレベルをチェック	引き続き継続

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無(確認日:令和1年7月10日)

### (1) 適用される主な環境関連法規

- ・廃棄物処理法
- ・食品リサイクル法
- ・消防法
- ・環境基本法
- ・水質汚染防止法
- ・浄化槽法
- ・労働安全衛生法
- ・フロン排出抑制法

### (2) 違反・訴訟等

2018年6月～2019年5月において、環境関連の違反・訴訟等はありませんでした。  
また、過去3年間においても違反・訴訟等は一度もございません。

## ○代表者による全体の評価と見直し・指示（評価日：令和1年7月10日）

### (1) 当社の環境への負荷の低減・管理への評価

今期は火災からの復旧により、工場再稼働の正常化に伴い、結果として工場電力およびトラック使用の軽油使用量が増加しました。また、水使用量については、火災後から検針が出来ない状態の為、一定使用量での計上となっていたが、工場正常化により検針が再開された為、一気に増加した結果となっている。また、回収ルートの効率化がなかなか進まない中で顧客が増加したことにより、二酸化炭素排出量が増加しました。

### (2) 環境マネジメントシステム導入の評価

火災からの正常化に伴う業務量の増大により、一つずつの環境負荷低減への取組みが徹底できずに終わった年度となった。引き続き、ミーティングの機会を増やし、経営者と経営幹部の認識を共有するべく取り組んでいきます。

また、運転業務の社員への浸透として、業務前チェック、ドライブレコーダーの導入などをおこないましたので、これらを使い、環境負荷低減に全社一丸となって取り組んでいきます。

代表取締役 岡野 嘉市

以上